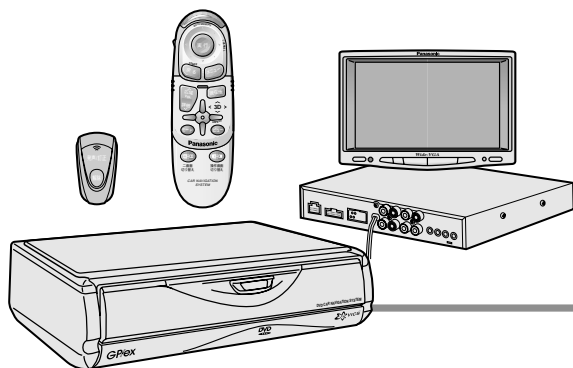


Panasonic

7型ワイドVGAテレビ付
DVDビデオプレーヤー内蔵
DVDカーナビゲーションシステム

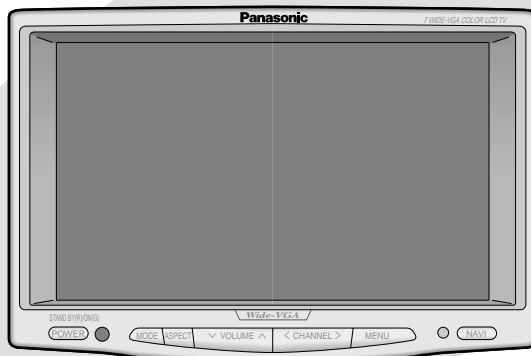
取扱説明書

(テレビ操作・取付編)



品番

CN-DV3500XWD



このたびは、パナソニック カーナビゲーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

ご使用前に

使う

設定する

必要な時に

接続と仕様

特長

本機のRGB入力は、VGA映像専用です。

必ず、同梱のVGA対応ナビゲーションシステムと接続してご使用ください。

7型ワイドVGA液晶ディスプレイ搭載(☞8ページ)

高精細(従来比約4倍)のカラーディスプレイで、優れた色再現性を実現

RGB入力端子付(☞28ページ)

VGA対応ナビゲーションをRGB原色信号で接続するため、細かい地図が明瞭に見える

オートディマー機能内蔵(☞18ページ)

周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整

多彩な画面モード切り替え機能内蔵(☞16ページ)

ノーマル/フル/ズーム/ジャスト/シネマの画面モード切り替え機能を内蔵

オートメモリー機能(☞13ページ)

その場で受信可能な放送局を自動的に選局できるので、見たい放送局が簡単に選べる

スピーカー内蔵(☞8ページ)

モニターの背面に小型スピーカーを内蔵し、音声を聴くことができる

FMステレオトランスミッター内蔵(☞14ページ)

ステレオタイプのトランスミッター(送信機)を内蔵

配線の手間なく、テレビやビデオの音声を車載のFMラジオで受信して聴くことができる

拡張AV出力端子付(☞32ページ)

後席用にもう1台のモニターが接続できる

(前席でナビゲーションの地図画面、後席でテレビやビデオを見ることができる)

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全に正しくお使いいただくために	4
各部のなまえ	8
電源を入れる	10
電源を入れる/切る	
音量調整	
リモコンで操作するときは	

ご使用前に

使う

テレビを見る	12
組み合わせて楽しむ	14
カーナビゲーション	
FMラジオ(FMトランスミッター)	
車載用カメラ	
車載用ビデオ、ビデオカメラ	
後席用(2台目)のモニター	

使う

設定する

便利な機能	16
映像の横縦比(アスペクト)を変える	
テレビ放送の音声を切り替える	
メニュー画面で設定を変える	18
ユーザー設定	
入力設定	
映像調整	

設定する

必要なときに

故障かな!?	22
お手入れのしかた	23

必要な時に

接続する

配線・取り付けの前に	24
各部の名前とはたらき	26
配線のしかた	27
テレビスタンドを取り付ける	34
テレビアンテナを取り付ける	36
仕様	38
アフターサービスについて	39



接続と仕様

安全に正しくお使いいただくために



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

運転や視界の妨げになる位置に取り付けられない



禁止

前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

注意

取り付け・配線は、専門技術者に依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線作業中はバッテリーの⊖端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なおいがる等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない



禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナのエLEMENTが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損ないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+と-の向き)を確かめて、指示どおり正しく入れる。指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。使いきった電池は、すぐに交換する。リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きつけたリビニール袋などに入れて絶縁する。充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

使用上のお願い

モニターに衝撃を与えないでください。

低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度：0 ~ 40)

液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。特殊加工がされているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。位置や向きを調整し、本機から離してください。

液晶ディスプレイを押したりしないでください。

走行中は、テレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。

安全な場所に停車し、サイドブレーキをかけてご覧ください。後席用(2台目)のモニターには、映像が表示されます。(☞15ページ)

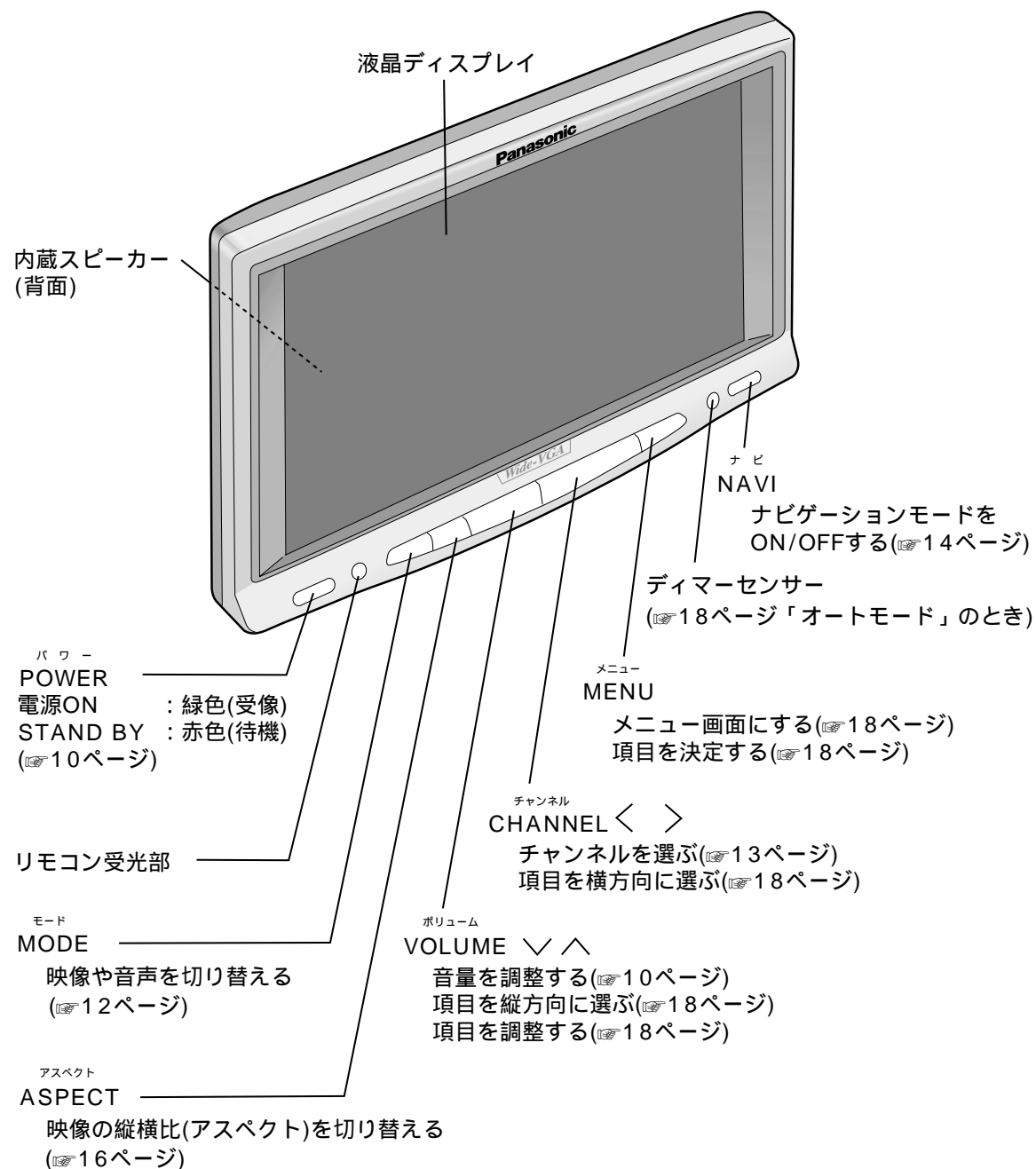


この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(☞8~9ページ)も併せてご覧ください。

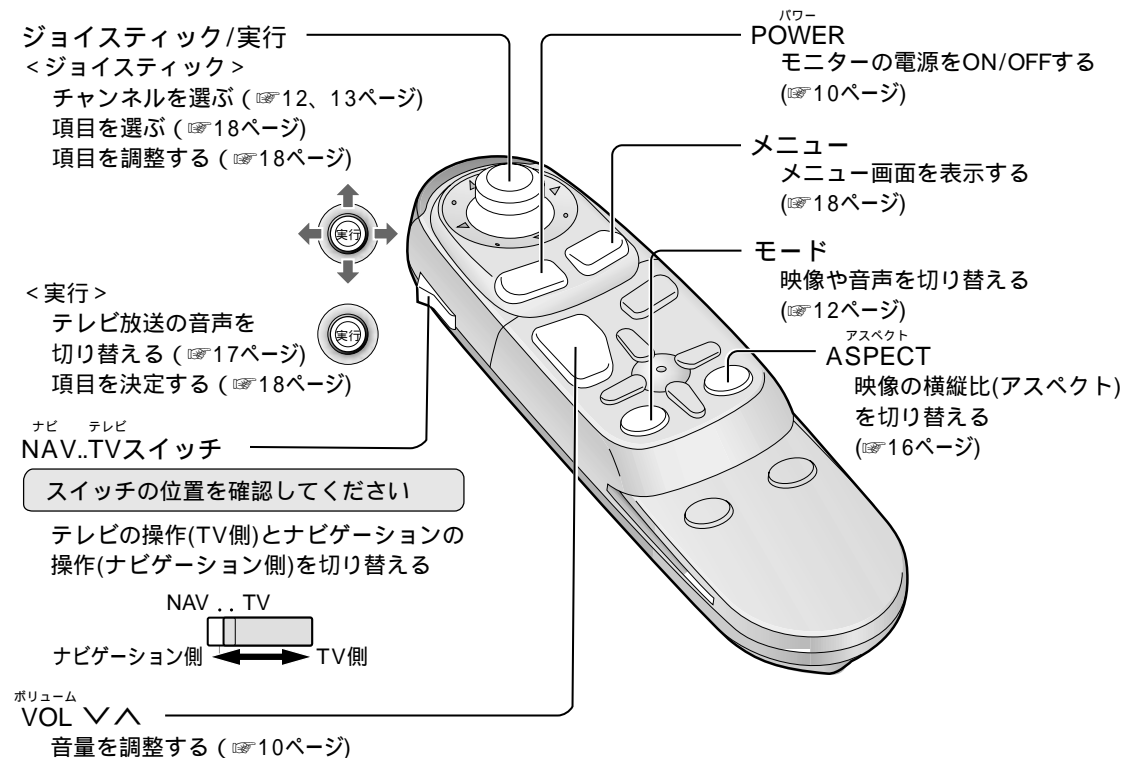
各部のなまえ



お願い

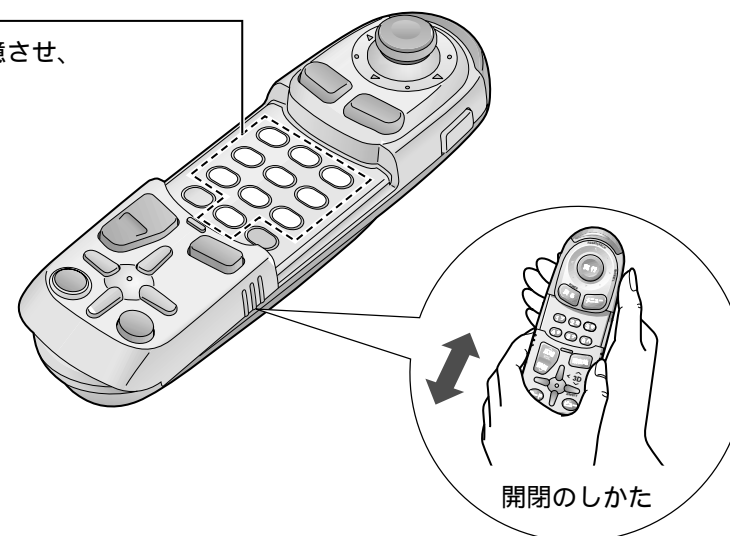
液晶ディスプレイを押したりしないでください。

ご使用前に

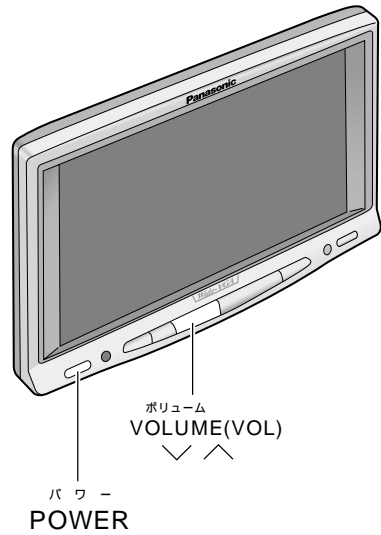


10キー

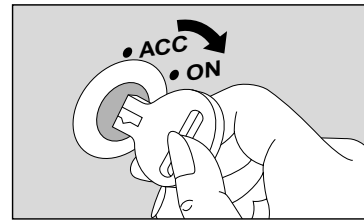
チャンネルを記憶させ、
選局する
(13ページ)



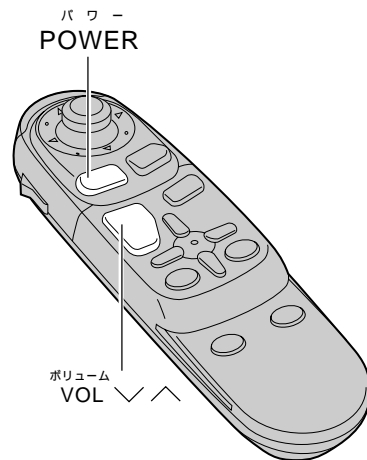
電源を入れる



1 車のエンジンをかける (「ACC」の位置でも可)



2 POWER を押して、 電源を入れる



音量を調整するには ⇨ **VOL** 押す

電源を切るには ⇨ **POWER** 押す

警告

運転者は走行中に操作をしない、また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し、操作してください。

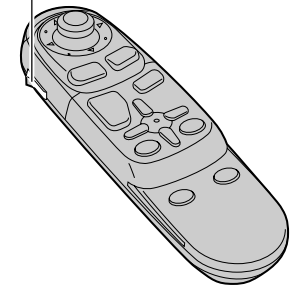
リモコンで操作するときは

「NAV..TV スイッチ」の位置をお確かめください。

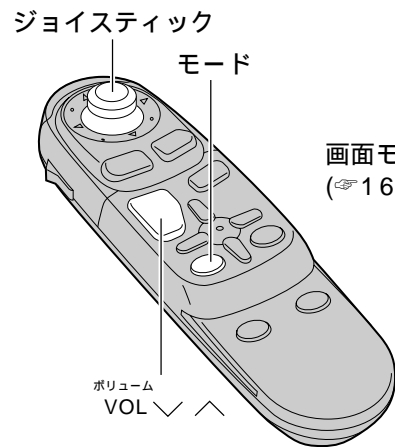
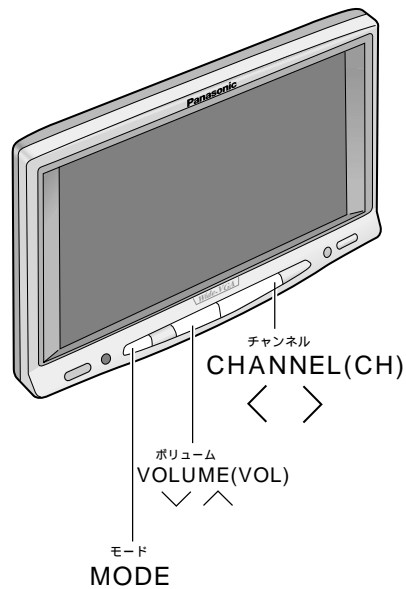
テレビを操作するとき：「TV」側

ナビゲーションを操作するとき：「NAV」側

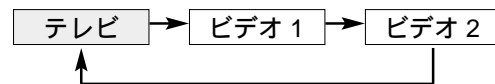
ナビ テレビ
NAV.. TVスイッチ



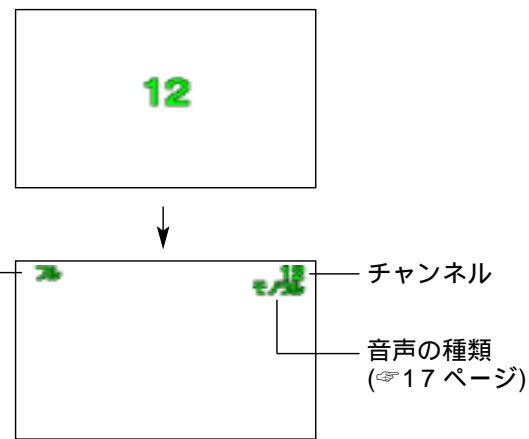
テレビを見る



1 [MODE] を押して、 テレビモードにする



2 <CH> を押して、 チャンネルを選ぶ (リモコンは [ジョイスティック])



表示は、約 3 秒間で消えます。

音量を調整するには ⇨ [VOL] 押す

お知らせ

ナビゲーションモードを解除してください。 [NAVI] 押す
リモコンで操作するときは、NAV..TV スイッチを「NAV」側に
にして、 [モード] を押す。

チャンネルの選びかた

テレビ本体で操作するときは

準備

2 通りの方法があります。チャンネルモードをお確かめください。(18 ページ)

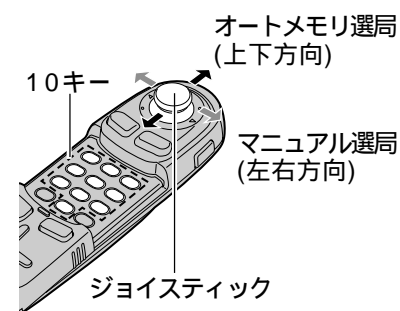
受信できる複数のチャンネルを探して記憶する オートメモリモード	チャンネルを探して記憶する	[<CH>] 1 秒以上押す 終了すると、もとのチャンネルに戻ります。	<p>16 局以上受信したときは、残りのチャンネルが約 3 秒間表示されます。</p>
	チャンネルを記憶された中から選ぶ	[<CH>] 押す	

チャンネルをひとつずつ選ぶ マニュアルモード	チャンネルを探す	[<CH>] 1 秒以上押す 受信すると、止まります。	お知らせ チャンネルの記憶は、操作するたびに更新されます。 映らない(画質が悪い)チャンネルが記憶されることもあります。 受信できるチャンネルがないときは、1 周してもとのチャンネルに戻ります。
	チャンネルを 1CH ずつ切り替える	[<CH>] 押す	

リモコンで操作するときは.....チャンネルモードの設定に関わりなく、選局ができます。

[ジョイスティック] を倒す

受信中のチャンネルを「10 キー」に記憶できます(プリセット)



チャンネルを記憶する	[0] ~ [9] 何れかを 2 秒以上押す	
チャンネルを選ぶ	[0] ~ [9] 何れかを押す	

使う

組み合わせて楽しむ

ナビゲーションの映像に切り替えるには

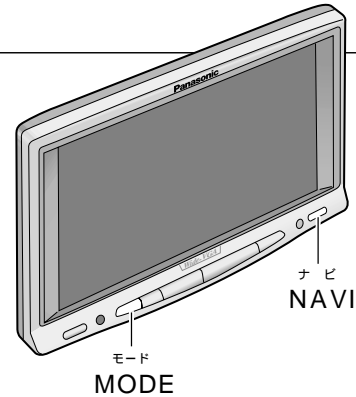
準備

カーナビゲーションを接続する。(☞28ページ)
「カーナビ入力」の設定を確認する。(☞20ページ)

NAVI を押して、ナビゲーションモードにする
(再度押すと、解除)



リモコンは...
NAV..TVスイッチを「NAV」側
にして、**モード** を押す。

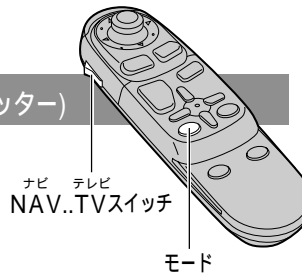


テレビなどの音声をFMラジオで聴くには(FMトランスミッター)

本機の音声を車載のFMラジオへ送信して聴くことができます。
(内蔵スピーカーは、ナビゲーション音声専用になります。)

準備

FMトランスミッターを設定する。(☞18ページ)
FMトランスミッター用アンテナが伸びていることを確認
する。(☞26ページ)
FMラジオの周波数を一致させて、本機の音声を受信する。
→ 音量は、FMラジオで調整してください。



ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

本機の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、
FMラジオへ送信する音声だけが切り替わります。



テレビ → ビデオ1 → ビデオ2
↑

FMトランスミッターの音声

お知らせ

ナビゲーションの音声は、FMトランスミッターに出力されません。
音声と映像を同じにしたいときは、ナビゲーションモードを解除してください。 → **NAVI** 押す

リモコンは
NAV..TVスイッチを「NAV」側にして
モード を押す。

FMトランスミッターについて
FMラジオ放送と混信しない周波数に設定してください。
取り付け場所によって、聴きにくいことがあります。
(実用到達距離は、約3mです)

車載用カメラの映像に切り替えるには

準備

車載用カメラとリバースコードを接続する。(☞31ページ、取付説明書)
カメラ入力が正しく設定されているか確認する。(☞20ページ)

車のシフトレバーを
バック“R(リバース)”に入れる

お知らせ

ディスプレイがSTAND BY(待機)のときも、表示されます。
「ビデオ2」にモードを切り替えたときも、表示されます。

MODE 押す

車載用ビデオやビデオカメラで楽しむには

準備

車載用ビデオやビデオカメラを接続する。(☞30ページ)
カメラ入力が正しく設定されているか確認する。(☞20ページ)

MODE を押して、
ビデオ2モードにする

お知らせ

ナビゲーションモードを解除してください。
NAVI 押す
リモコンで操作するときは、
NAV..TVスイッチを「NAV」側
にして、**モード** を押す。

後席用(2台目)のモニターで楽しむには

前席(本機)と同じモードの映像・音声が出力されます。
前席がナビゲーションの地図画面のときには、後席でテレビやビデオを見ることもできます。

準備

もう1台モニターを接続する。(☞32ページ)

ナビゲーションモードのときに、**MODE** を押す

前席(本機)の映像・音声(内蔵スピーカー)はナビゲーションのまま、後席(2台目)のモニターの映像・音声だけが切り替わります。

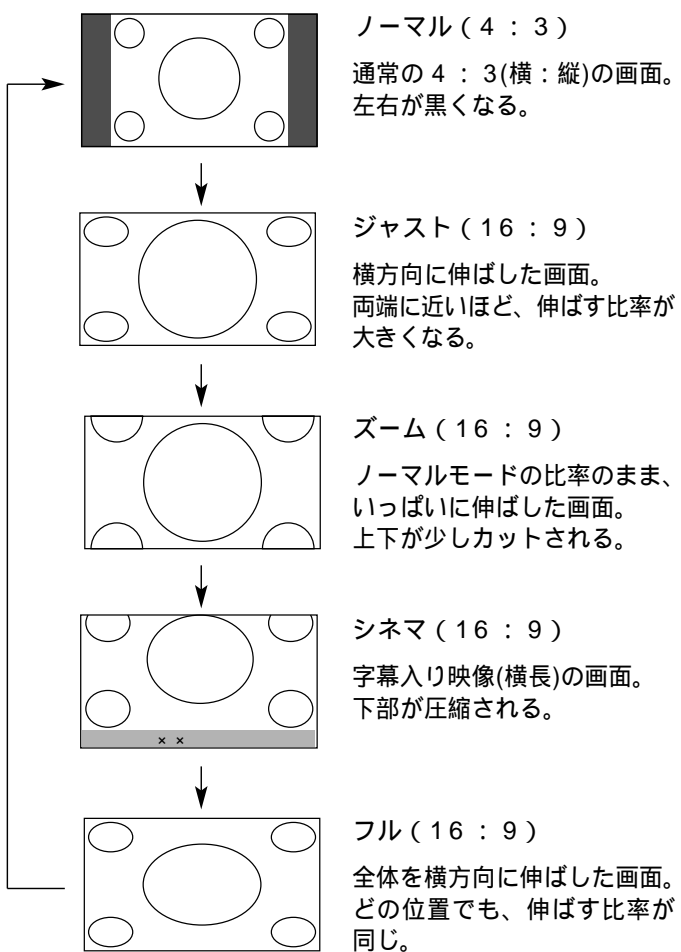
お知らせ

ナビゲーション(RGB接続)の映像は、出力されません。

便利な機能

映像の横縦比(アスペクト)を変える

ASPECTを押して、画面モードを切り替える



お知らせ

テレビとビデオ1・2は、同じ
設定になります。
ナビゲーションの映像は、ノ
ーマル・フルのみになります。
カメラの映像は、ノーマル・
フル・ジャストのみになります。
選びかたによっては、オリジ
ナル映像と異なって見える場合
があります。

お願い

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドでない通常(4:3)の映像をフル・ズーム・ジャストなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。製作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルモードでご覧ください。

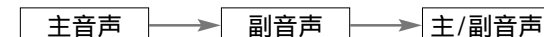
テレビ放送の音声を切り替える

- リモコンの **実行** を押す
- チャンネルの表示中(約3秒間)に再度リモコンの **実行** を押して切り替える

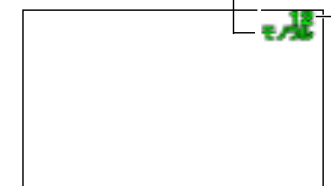
ステレオ放送の場合



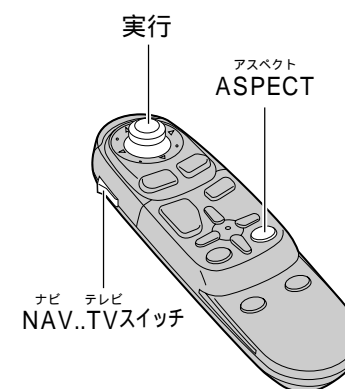
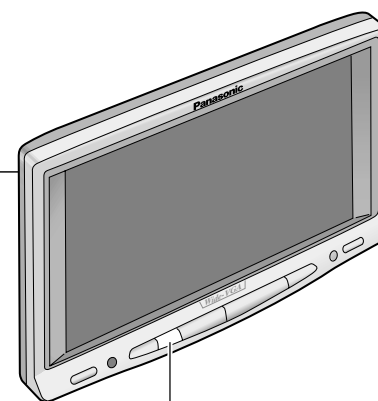
2カ国語(二重)放送の場合



音声の種類



チャンネル番号の色で
放送の種類を示します。
緑: モノラル放送
黄: ステレオ放送
赤: 2カ国語(二重)放送

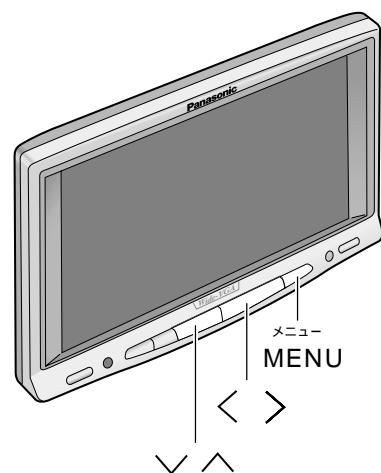


メニュー画面で設定を変える

1 メニュー画面から 2 項目を選び

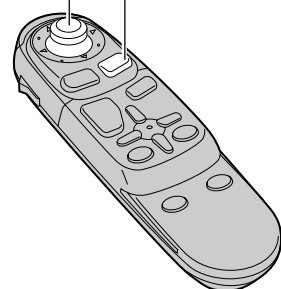


MENU を押す



ジョイスティック / 実行

メニュー



ユーザー設定

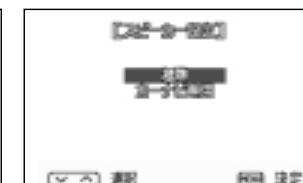
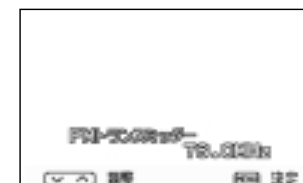


① < > と ↓ ↑ で項目を選び

② MENU を押す

リモコンは ① ジョイスティック
② 実行

3 設定する



① ↓ ↑ で選択・調整し

② MENU を押す

リモコンは ① ジョイスティック
② 実行

FM ラジオへ送信する周波数を設定する
(出荷時は「76.0MHz」)

FM トランスミッター を選び

周波数を調整する
76.0MHz ~ 78.4MHz OFF
(0.1MHz 間隔で切り替わる)

内蔵スピーカーの音声を設定する

標準 : 表示されている画面の音声を出力する
カーナビ専用 : 常にカーナビの音声を出力する
(出荷時は「標準」)

スピーカー設定 を選び

標準 または
カーナビ専用 を選ぶ

画面の明るさを設定する

オートモード : 周囲の明るさに合わせて自動的に調整される
1 ~ 4 : 暗い ~ 明るい
(出荷時は「オートモード」)

ディマー設定 を選び

オートモード または
1 2 3 4 の何れかを選ぶ

チャンネルの選局方法を設定する
(出荷時は「オートメモリモード」)

チャンネルモード設定 を選び

オートメモリモード または
マニュアルモード を選ぶ

お知らせ

操作を途中でやめるには
MODE を押す

メニュー画面を終えるには
終了 を選ぶ

約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

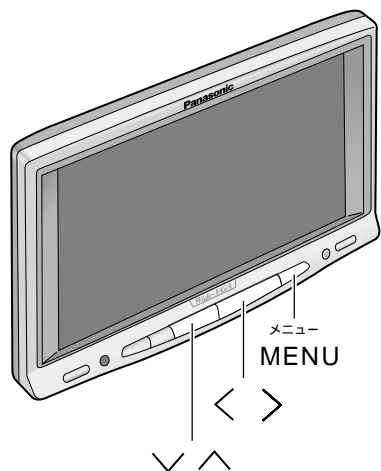
設定する

メニュー画面で設定を変える

1 メニュー画面から

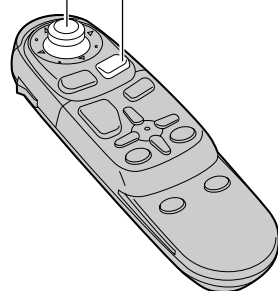


MENU を押す



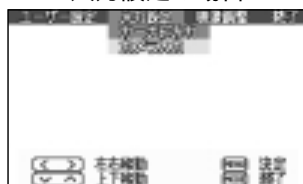
ジョイスティック / 実行

メニュー



2 項目を選び

入力設定の場合



映像調整の場合



- ① < > と \downarrow \uparrow で項目を選び
 - ② MENU を押す
- リモコンは ① ジョイスティック
- ② 実行

3 設定する

ナビゲーションの画面を表示しているときは、色の濃さと色あいは設定できません。



- ① \downarrow \uparrow で選択・調整し
 - ② MENU を押す
- リモコンは ① ジョイスティック
- ② 実行

入力設定

ナビゲーションの接続を設定する

RGB : 本機と接続した場合
ビデオ 1 : 本機では使用しません。
(出荷時は「RGB」)

カーナビ入力 を選び

RGB を選ぶ
(「ビデオ 1」を選ぶと、ナビゲーション画面が表示されません。)

ビデオや車載用カメラなどの接続を設定する

入力しない : 未接続の場合
ビデオ 2 : ビデオ入力 2 に接続した場合
(出荷時は「入力しない」)

カメラ入力 を選び

入力しない または
ビデオ 2 を選ぶ

映像調整

暗い部分を見やすく調整する
(調整範囲 : - 30 ~ + 30、出荷時は「±0」)

黒レベル を選び

「+」 : 黒が薄くなる
「-」 : 黒が濃くなる

めりはりを調整する
(調整範囲 : - 30 ~ + 30、出荷時は「±0」)

コントラスト を選び

「+」 : 白黒の差がはっきりする
「-」 : 白黒の差が小さくなる

濃淡を調整する
(調整範囲 : - 30 ~ + 30、出荷時は「±0」)

色の濃さ を選び

「+」 : 色が濃くなる
「-」 : 色が薄くなる

肌色をきれいに調整する
(調整範囲 : - 30 ~ + 30、出荷時は「±0」)

色あい を選び

「+」 : 緑色が濃くなる
「-」 : 赤色が濃くなる

お知らせ

操作を途中でやめるには
MODE を押す

メニュー画面を終えるには
終了 を選ぶ

約 10 秒間操作しないと
もとの画面に戻ります

映像調整は、モードごとに
設定できます。

設定する

故障かな!?

症状	原因と処置
電源が入らない	車のエンジンがかかっていない。 車のエンジンをかけてください。 (「ACC」の位置でも可(☞10ページ)) ヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。 各コードが正しく接続されていない。 接続をご確認ください。(☞24～37ページ)
画面の明るさが一定でない	ディマー設定が「オートモード」になっている。 故障ではありません。設定を「1」～「4」にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。(☞18ページ)
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	映像調整が適切でない。 各項目を調整してください。(☞20ページ)
雑音のみで映像が不鮮明	チャンネルが合っていない、または電波が弱い。 受信できるチャンネルに変えてください。(☞12ページ) テレビアンテナがはずれている。 接続を確認してください。(☞24～37ページ)
音声は出るが、 映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキのコードの接続がはずれている。 接続を確認してください。(☞27ページ) サイドブレーキを引いていない。 サイドブレーキを引いてください。
FMトランスミッターの 音が出ない	FMトランスミッター設定が「OFF」になっている。 周波数を設定してください(☞18ページ) 選局がずれている、またはFMラジオの音量が下がっている。 調整してください。(☞14、18ページ) 電源コード(テレビ用)のFMトランスミッター用アンテナが伸びていない。 音が良く聞こえるようにアンテナを伸ばし、引き直し直してください。(☞26ページ)
テレビを操作できない	NAV..TVスイッチの位置が正しくない。 「TV」側にしてください。(☞11ページ)
ナビゲーションの映像が 表示されない	カーナビ入力設定が「ビデオ1」になっている。 「RGB」にしてください。(☞20ページ)

こんなときは、故障ではありません。

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる 雑音が出る	ビルとビルの間 / 送電線の付近 / 山かげ / 電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を飛行機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする 雑音が出る	山や木立のかげになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車 / バイク / 高圧線 / ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る 色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。
赤、青または緑の点が 表示される	液晶ディスプレイ特有の現象。

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら
すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店
またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

お手入れのしかた

本機が汚れたときは
乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー
類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので避けて
ください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってくだ
さい。



お願い

本機内に水が入ると故障の原因になりますので、洗車や雨の時に水がかからないようご注意ください。

必要な時に

配線・取り付けの前に

⚠ 注意

分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙、発火の原因になります。

取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

部品を確認する

本機は下記の部品で構成されています。取り付ける前に部品を確認してください。

液晶カラーテレビ関係

番号	品名	個数
Ⓐ	ディスプレイユニット	1
Ⓑ	チューナーユニット	1
Ⓒ	ユニット接続コード (2.5 m)	1

テレビスタンド関係

番号	品名	個数
①	テレビスタンド	1
②	テレビスタンド固定ねじ	5
③	コードクランパー	3

テレビアンテナ関係

番号	品名	個数
④	アンテナ本体左右(コード 6 m)	各 1
⑤	アンテナベース(アンテナ本体に装着して出荷)	2
⑥	クリーナーセット [クリーナー液、ウエス(布)]	一式
⑨	コードカバー	4
⑩	コードクランパー	6

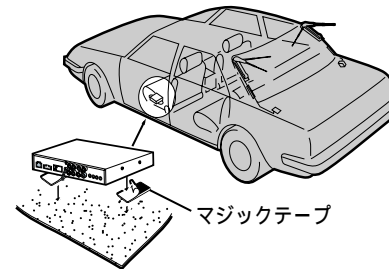
コード関係

番号	品名	個数
⑪	RGB コード (4 m)	1
⑫	電源コード (テレビ用)	1
⑬	圧着式コネクター (テレビ用)	1
⑭	RCA 中継コード (4 m)	1

① ~ ⑭ はカーナビゲーションの部品です。取付説明書(本体)をご参照ください。

本機の RGB 入力は、VGA 映像専用です。
必ず、同梱の VGA 対応ナビゲーションシステムと接続してご使用ください。

■ チューナーユニット (P.26 ページ)



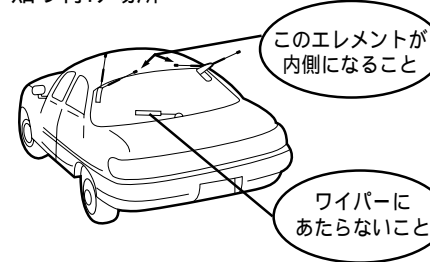
市販のマジックテープなどをご使用になり、座席の下などへ取り付けてください。

お願い

次のようなところには取り付けないでください。
ドアの近くなど雨水がかかりやすいところ。
足でふまれるところ。
およびエアコンの吹き出し口の近くなど温風のあたるところ。
チューナーユニットとナビゲーション本体は重ねないでください。
連続して使用すると、ナビゲーション本体が温かくなります。
ナビゲーション本体の上に物をのせないでください。

■ テレビアンテナ (P.36 ページ)

貼り付け場所



リアウインドウ(上部のコーナー部分)へ取り付けてください。
車幅の外側に、はみ出さない。
ワイパーにあたらない。

お願い

1BOX 車、2BOX 車に貼り付ける場合にはバックドアの開閉でアンテナエレメントが目にあたりたり、コードが断線しないよう取り付けてください。

接着力を強めるために・・・

雨天時は野外で作業しない
ドライヤーなどで水分を取り除いてください。
ガラスの表面を暖める
外気温が 20 °C 以下のときは、5 分ほどリアウインドウデフォグや車内ヒーターをご使用ください。
貼り付けしたあと、24 時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしない(通常の走行は差し支えありません)。
貼り直しはしない
接着力が弱くなり、はがれる危険性があります。貼り直す場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

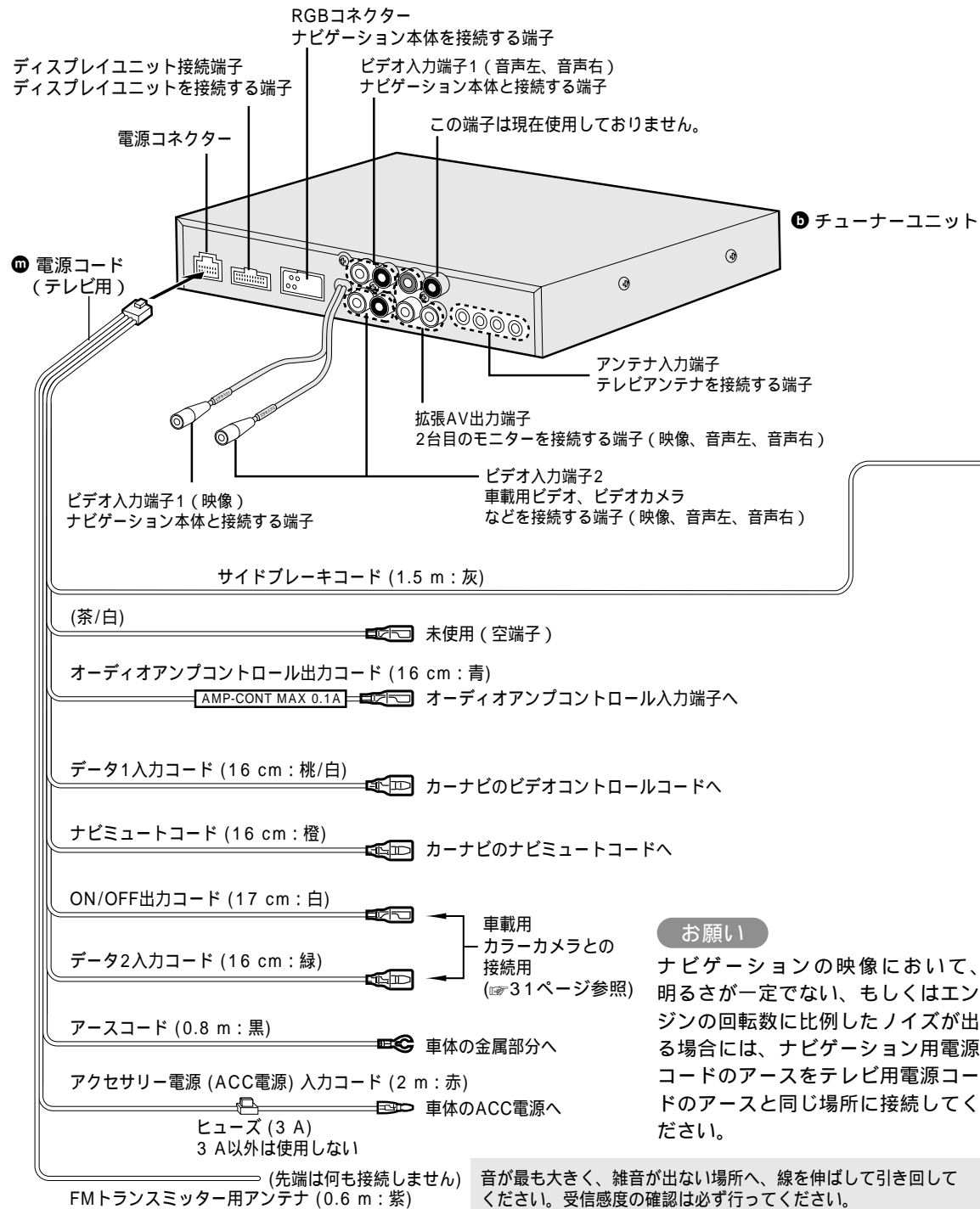
お知らせ

フッ素樹脂処理された(水滴や泥水等を弾く)塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

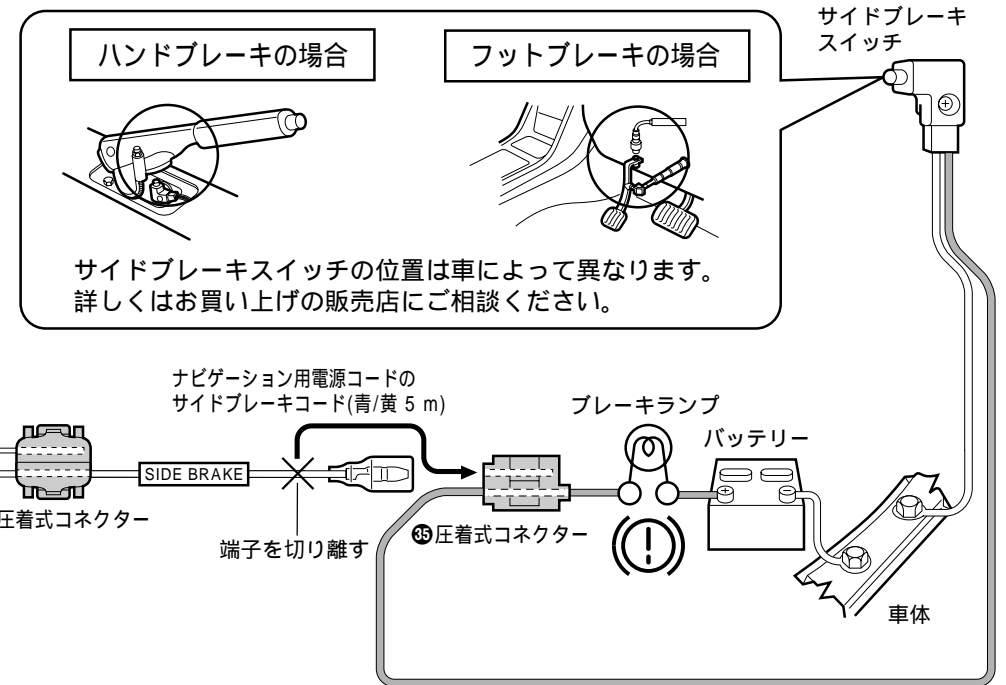
各部の名前とはたらき

配線のしかた

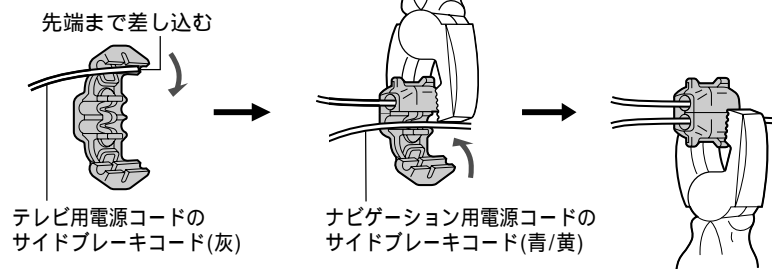
基本配線（電源コードを接続する）



サイドブレーキコードの配線 安全と事故防止のため、必ず行ってください。



圧着式コネクタ①の接続方法



お知らせ

圧着式コネクタ⑤の接続は、取付説明書（本体）をご参照ください。

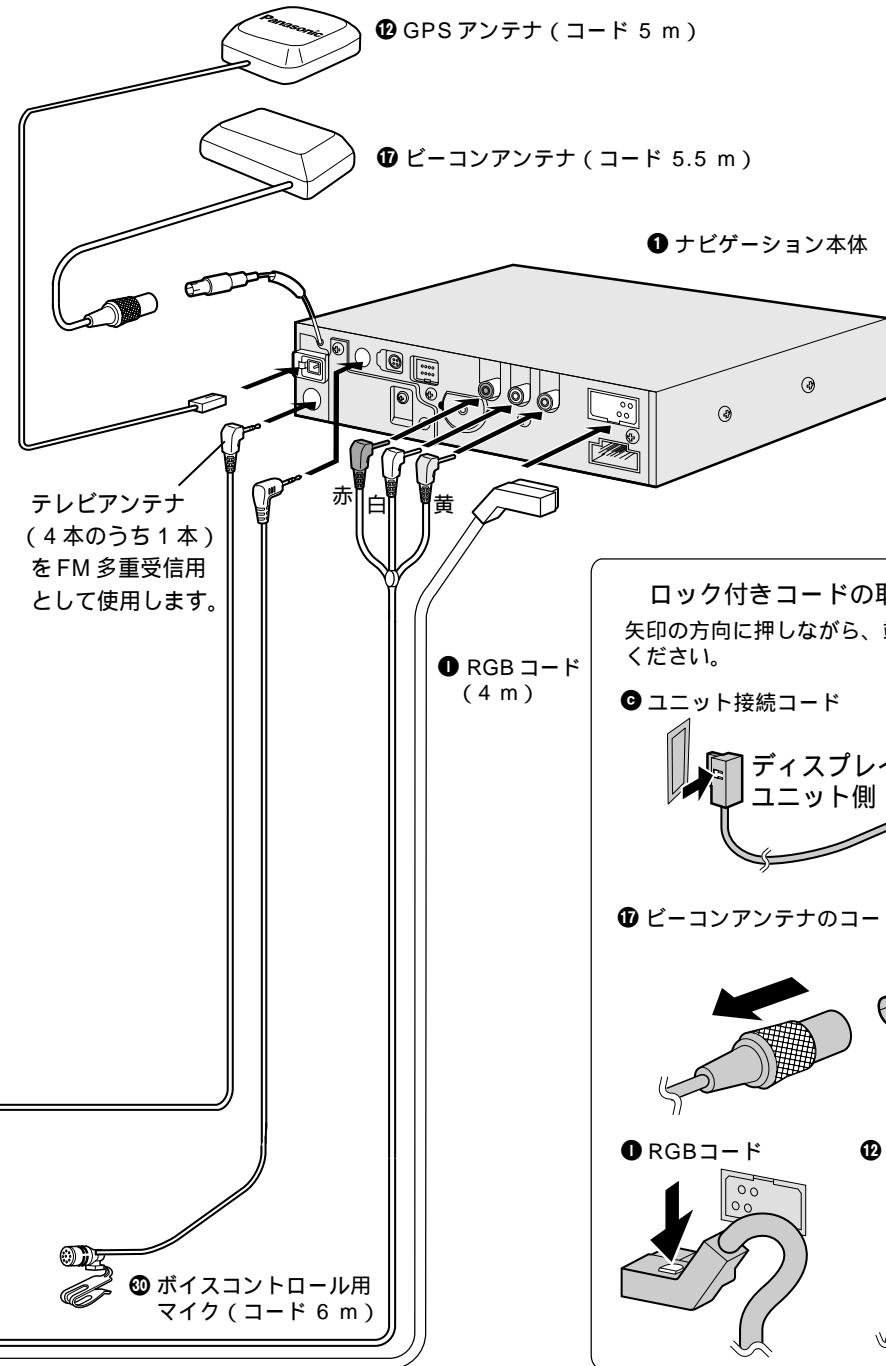
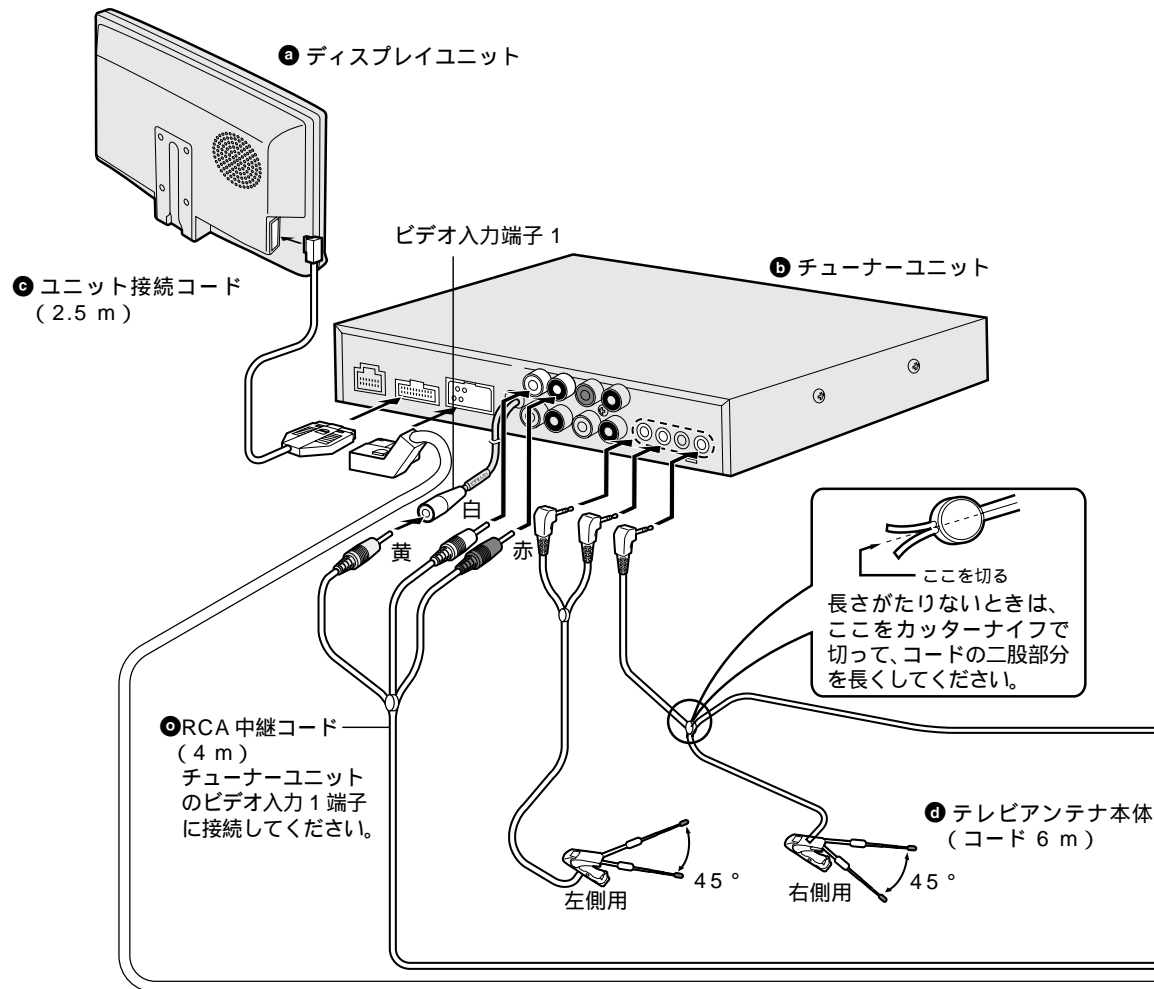
配線のしかた

ディスプレイユニット、チューナーユニット、ナビゲーション本体を接続する

ナビゲーション本体の配線・取り付け（付属品 ① ~ ⑩）については、取付説明書（本体）をご参照ください。

お願い

本機はVGAディスプレイユニット専用です。必ず、同梱のVGA対応ディスプレイユニットを接続してください。
 コネクターは確実に差し込んでください。
 コードは高熱部を避け、クランプやテープで固定してください。
 ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。
 テレビアンテナのコードは、ナビゲーションの電源コード、GPSアンテナのコード、RGBコードとはできるだけ離して配線してください。



ロック付きコードの取りはずしかた
 矢印の方向に押しながら、端子から取りはずしてください。

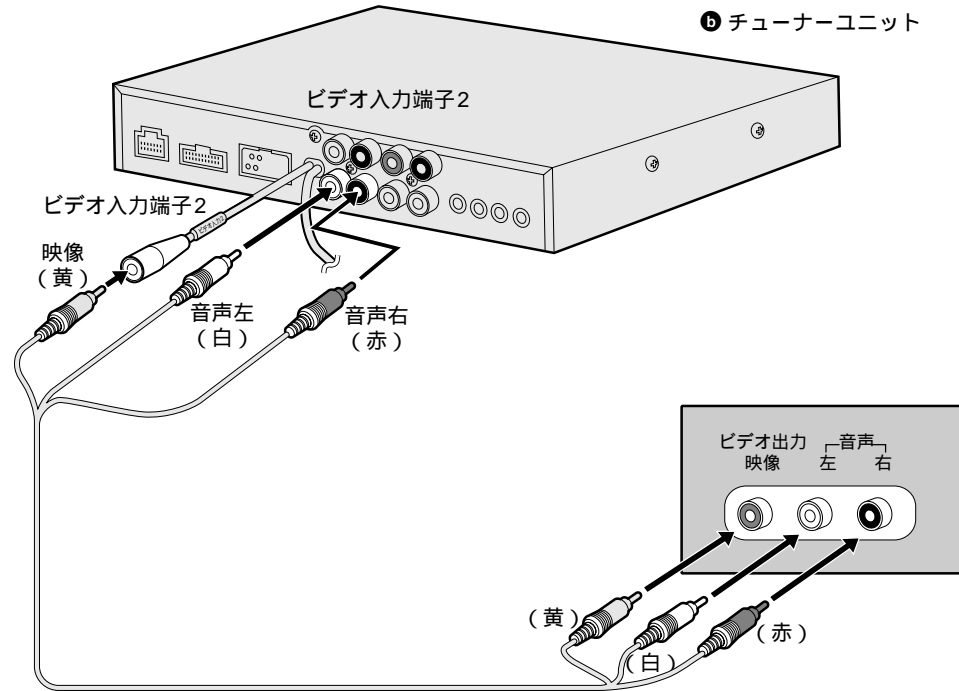
⑧ ユニット接続コード
 ディスプレイユニット側
 チューナーユニット側

⑦ ビーコンアンテナのコード

⑧ RGBコード
 ⑩ GPSアンテナのコード

配線のしかた

車載用ビデオやビデオカメラを接続する



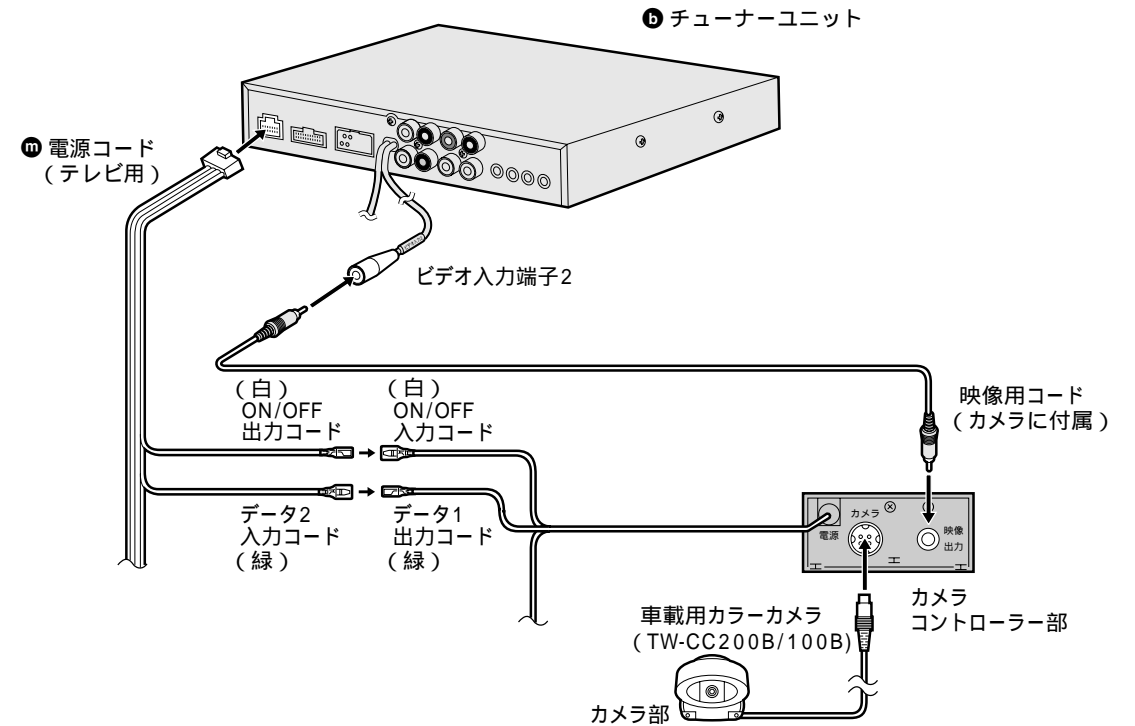
映像用および音声用コードは別売です。
コネクタの位置は接続する機器によって異なります。

お知らせ

ビデオカメラ、車載用ビデオと、車載用カラーカメラは、同時に本機に接続することはできません。

車載用カメラを接続する

ここではパナソニック TW-CC100B を例にします。



その他の配線については、車載用カメラの取扱説明書をご参照ください。

お知らせ

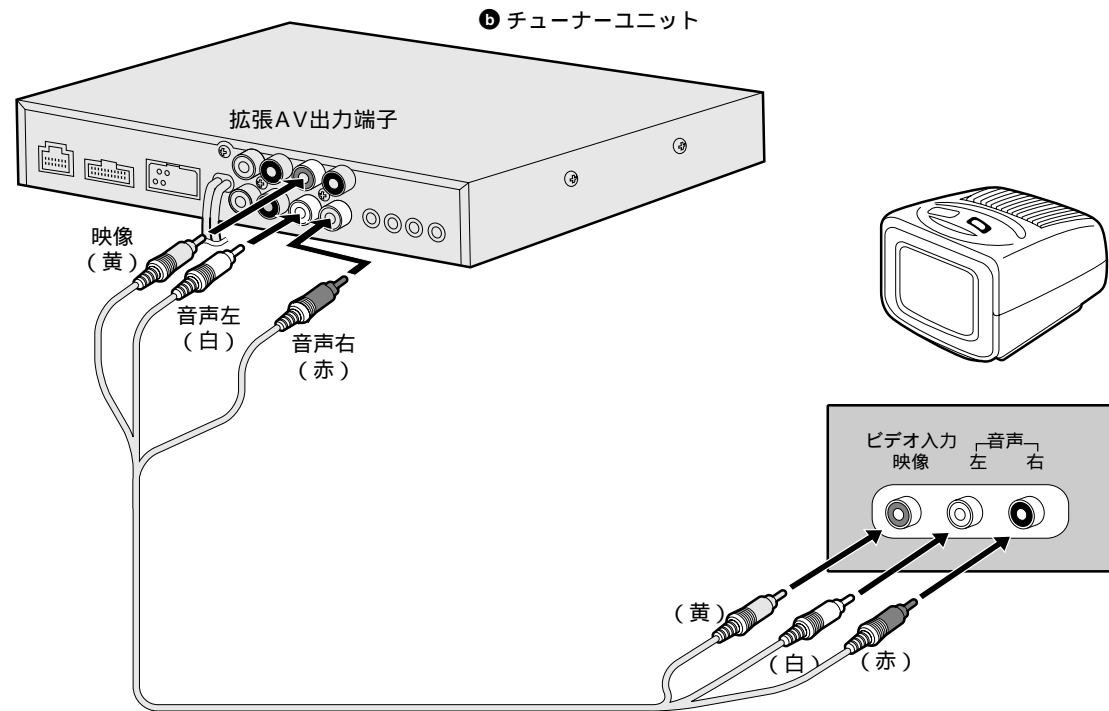
この接続をすると、車のシフトレバーを後退 (R) に入れた時に、自動的に車載用カメラの映像をテレビモニターに表示します。

ビデオカメラ、車載用ビデオと、車載用カラーカメラは、同時に本機に接続することはできません。

配線のしかた

2台目のモニターを接続する

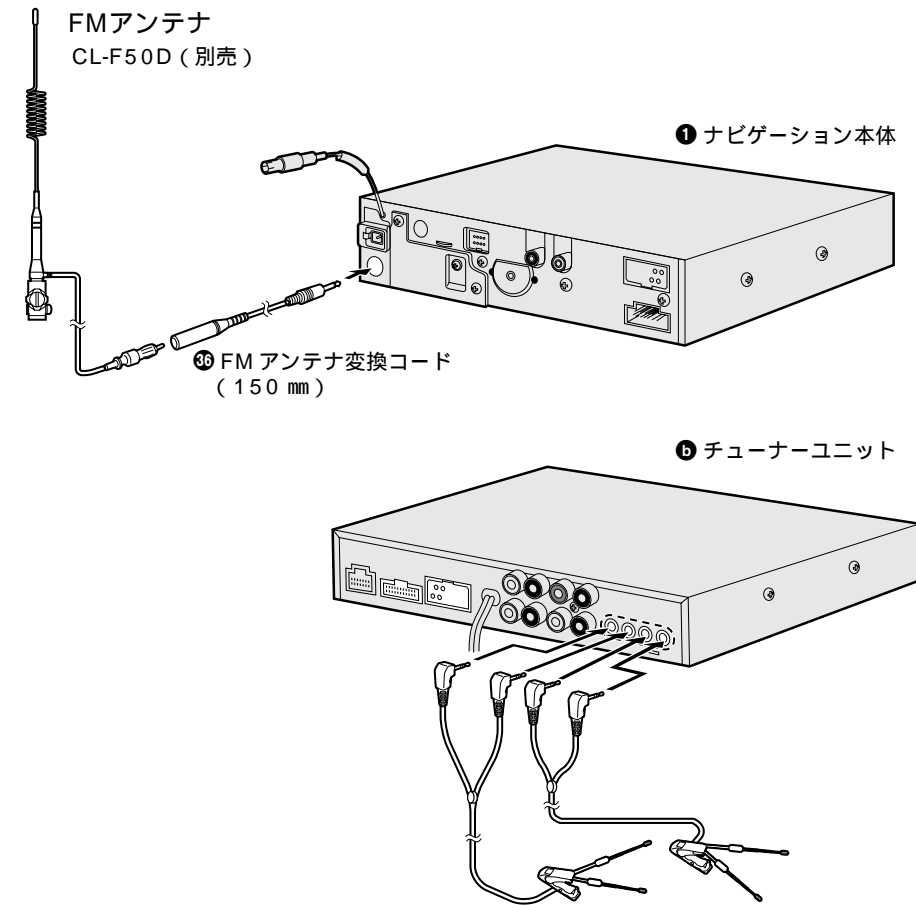
本チューナーユニットにもう1台モニターを取り付ける場合、以下のように接続してください。



映像用および音声用コードは別売です。
コネクターの位置は接続する機器によって異なります。

ラジオ・FM アンテナを接続する

■ 車のラジオ用アンテナまたは別売のFM アンテナをナビゲーション本体に接続して使用する場合



テレビスタンドを取り付ける

お願い

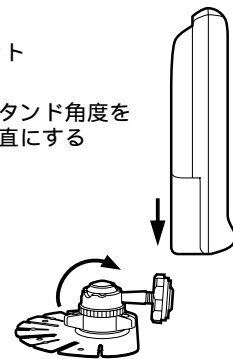
前方視界を妨げず、画面が見やすい向きで、かつ、エアバッグ装着車はエアバッグがふくらんだときに邪魔にならない場所を選んでください。
 安全のため、必ず付属のテレビスタンド固定ねじを使って固定してください。
 付属のねじでテレビスタンドを固定する際、ダッシュボードに穴を開けてください。
 GPS アンテナおよびビーコンアンテナから約 20cm 以上離れた場所を選んでください。
 貼り付け場所の汚れを十分にふきとり、乾いてから貼り付けてください。貼り付けたあとは、確実に密着するよう強く押し付けてください。

1 テレビスタンド本体にディスプレイユニットを取り付ける。

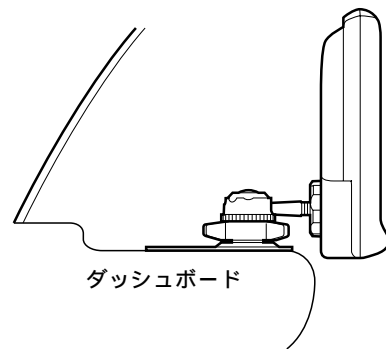
① ディスプレイユニット

スタンド角度を垂直にする

② テレビスタンド

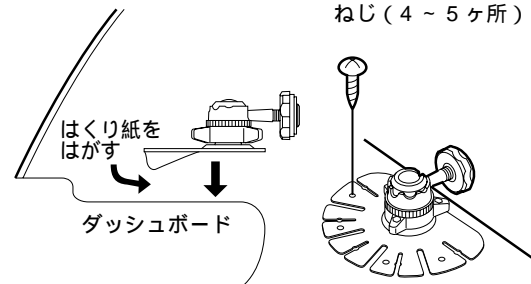


2 ディスプレイユニットを仮止めし、取り付ける位置を決める。 (このとき、両面テープのはくり紙は、はがさないでください) テレビスタンドは、貼り付け場所の形状に合わせて曲げてください。



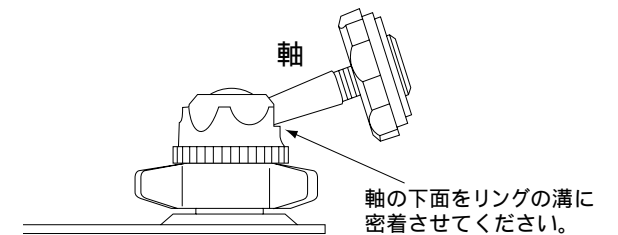
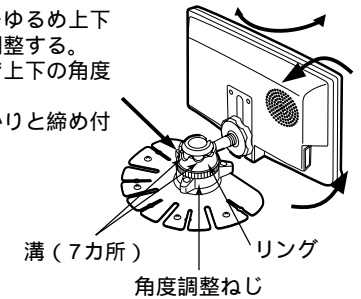
3 ディスプレイユニットを一旦はずす。 テレビスタンドのはくり紙をはがし、貼り付ける。 貼り付けたあと、付属のねじで固定する。

① テレビスタンド固定ねじ (4 ~ 5ヶ所)

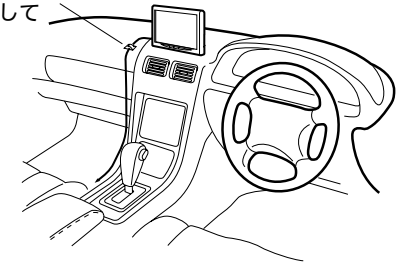


4 24 時間経過したあと、ディスプレイユニットを取り付け、角度、高さを調整する。

角度調整ねじをゆるめ上下左右の角度を調整する。
 (リングの溝で上下の角度を調整する)
 調整後、しっかりと締め付けて固定する。



コードは高熱になりやすい場所を避けて、
② コードクランパーやテープで固定してください。

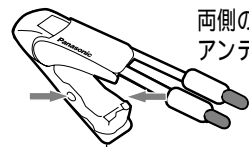


テレビスタンドのはずしかた

ねじをはずし、貼り付け面の隅のほうからゆっくりと引きはがしてください。(温度が低いときは、車内ヒーターを入れるか、ドライヤー等で貼り付け面を温めてからはがしてください。)
 接着テープが残った場合は、指などでこすってはがしてください。

テレビアンテナを取り付ける

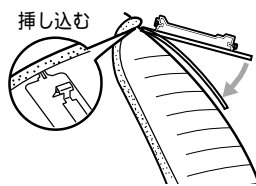
1 アンテナ本体から
ベースをはずし、



両側のボタンを押しながら、
アンテナ本体を上を持ち上げる。

e アンテナベース

2 ガラス面に合うように
ベースを整形する。



挿し込む 裏紙をはがさないで
アンテナベースを曲げる。

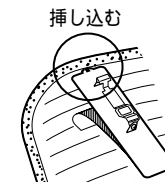
3 貼り付ける部分を拭き、



① クリーナーセットで
ほこり・油・ワックスを拭き取る。

乾いて白くなったクリーナー液は
空拭きする

4 裏紙をはがして
ベースを貼り付ける。

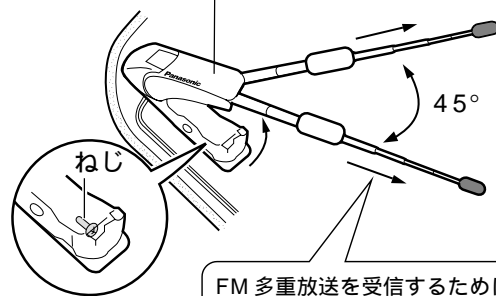


挿し込む 空気が入らないように、
先端から少しずつ密着させる。
(車内から裏面を確認する)

接着面に手を触れない

調整のしかた

水平より少し上向きに持ち上げる



45°

ねじ

FM 多重放送を受信するために、
アンテナエレメントは引き伸ば
してご使用ください。

エレメントが車幅からはみ出す場合は...

- ① ドライバーでねじをゆるめて、
- ② アンテナ本体の傾きを調整し、
- ③ ねじを締めなおす。

エレメントがスムーズに伸縮しないときは...

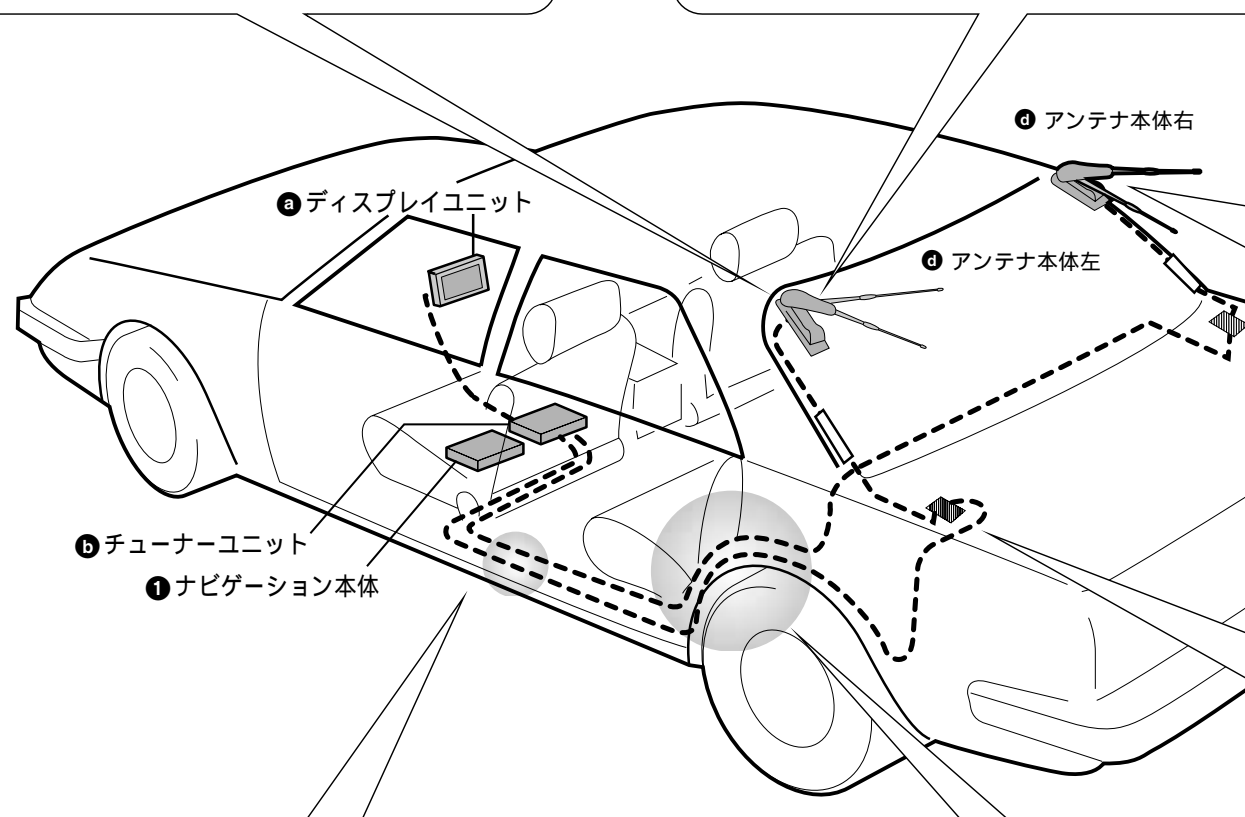
付属のクリーナー液、またはねり状ワック
スで磨いてください。

お願い

時々ねじのゆるみを点検し、締めなおして
ください。

洗車や長時間駐車するときは...

アンテナ本体をはずし、トランクへ収納し
てください。



a ディスプレイユニット

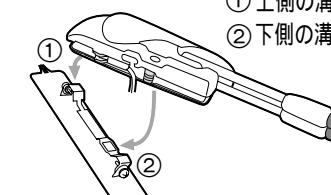
d アンテナ本体右

d アンテナ本体左

b チューナーユニット

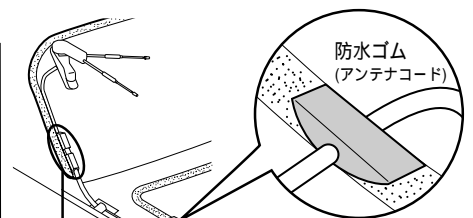
① ナビゲーション本体

5 コードを外側に出して
アンテナ本体を取り付ける。



- ① 上側の溝に引っかけて
- ② 下側の溝に“カチッ”とはめる。

6 トランクに雨水が入らないように
コードを引き回す。

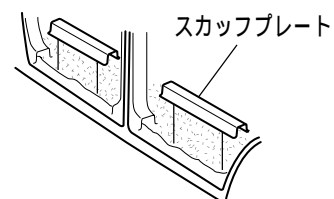


防水ゴム
(アンテナコード)

b コードクランパー
パッキンより低い位置に貼る

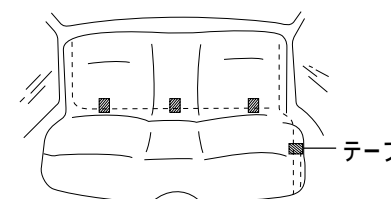
c コードカバー
カッターなどで必要な
長さに切って貼る

8 車のスカッフプレートをはずして
カーペットの下を通す。



スカッフプレート

7 リアシート下に
テープで固定する。



テープ

仕様

共通

電源電圧 : DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース、(試験電圧 14.4 V)
消費電流 : 2.0 A (TV 動作定格出力時)

ディスプレイユニット

画面寸法 : 7 型ワイド
幅 152.4 X 高さ 91.4、対角 177.7 (mm)
画素数 : 1 152 000 画素 (縦 480 X 横 800 X 3)
有効画素率 : 99.99 %以上
表示方式 : 透過型カラーフィルター方式
駆動方式 : TFT (薄膜トランジスタ)
アクティブマトリックス方式
使用光源 : 内部光 (L 字型冷陰極蛍光灯)
スピーカー : 40 mm 丸型 1 個
音声出力 : 1 W 以下 (8)
外形寸法 : 幅 188.4 X 高さ 128.4 X 奥行き 35.6 (mm)
質量 : 600 g

チューナーユニット

受信チャンネル : VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
(TV ステレオ、音声多重)
実用感度 : 34 dB/μV
FM トランスミッター出力周波数 : 76.0 MHz ~ 78.4 MHz
ビデオ入力端子 (VTR1/VTR2-IN) : <映像> 1.0 Vp-p (75 RCA ピンジャック)
(VTR1/VTR2-IN) : <音声> 0.5 Vrms (RCA ピンジャック)
拡張 AV 出力端子 : <映像> 1.0 Vp-p (75 RCA ピンジャック)
<音声> 0.5 Vrms (RCA ピンジャック)
外形寸法 : 幅 229 X 高さ 37.5 X 奥行き 139 (mm)
質量 : 810 g

テレビアンテナ

出力インピーダンス : 75 Ω X 4 (ミニプラグ付)
コードの長さ : 6 m
外形寸法 : 幅 30 X 高さ 28 X 奥行き 190 (mm) (本体収納時)
質量 : 250 g (本体片側、コードを含む)

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ
その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

0120-50-8729

フリーダイヤル(料金無料)
受付 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝祭日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CN-DV3500XWD
販売店名	☎ () -		
お客様 ご相談窓口	☎ () -		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283710 F1000-0